

# 『いい出会い いい道からの 贈り物』

～平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語 入選作品決定のお知らせ～

道路局 道路交通管理課

## ◆「道路ふれあい月間」とは◆

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用している国民の方々に道路とふれあい、道路の役割や大切さを再認識していただき、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るとともに、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的とした運動を実施しています。

期間：8月1日～8月31日

主催：国土交通省

後援：内閣府、警察庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、環境省

協賛：89団体(教育機関、ボランティア団体、報道機関等)

## ◆「道路ふれあい月間」推進標語◆

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、「道路ふれあい月間」の活動の一環として、改めて道路の役割・重要性について考えて頂くために、昭和41年より毎年、広く一般から「道路ふれあい月間」推進標語を募集しております。50回目を迎える本年は、全国各地から5,308作品もの応募がありました。

応募作品について、三好礼子氏(エッセイスト、元国際ラリースト)、やすみりえ氏(川柳作家、文化庁審議会分科会委員)、吉岡耀子氏(交通・環境ジャーナリスト)の3名の審査員による審査を行い、「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」の部門毎に、最優秀賞1作品ずつと優秀賞2作品ずつの計9作品が決定しました。

決定された優秀作品は、地方整備局や地方公共団体が

- ・地域住民等と強調した道路清掃、植樹帯の整備、不法占用物件の是正
- ・広報誌・マスコミを活用したPR活動
- ・パネル展示会や建設機械試乗会の開催

などといった道路の正しい利用や愛護活動を啓発する際のキャッチコピーとして使用<sup>(※)</sup>させていただきます。

(※)ポスター・チラシへの掲示・・・横断幕・電光掲示板・タスキへの掲示 等

## ◆審査委員◆【総合選評】



三好礼子 委員

(三好委員) 道は自然に生活に入ってくるものだと思います。日本という美しい自然の中、何気に通っているだけでも心が動き、気が付いたら新しい自分を作り上げてくれます。今日は改めてそんな感じを受けました。またもや全作品を拝見させて頂きましたが、とても面白くて、笑ったり、じーんときたり、大忙し。こんな角度もあるんだなあと感じるものもたくさんありました。選ばれなかったけれど、時代を感じるフレーズや人生という道に例えたものも、「標語として仕上げたりまとめたり」というテクニックがあれば、かなりの数が浮上し、接戦になったかも(惜しい!)。いかにせん、5,300もの人生ドラマを楽しませて頂きました。作った方もこれから目にする方も、改めて「道」を見つめる機会になってくれたら嬉しいですね。



やすみりえ 委員

各地の道の様子が、寄せて頂いた標語の中にあふれていました。来年のご応募も楽しみにしています。



吉岡耀子 委員

小、中、一般という年齢枠を意識してみると、道路に対するとらえ方にそれぞれの年代の特徴があるように見えます。小学生はダイレクトにイキイキと、成長途上の中学生はちょっとゆとりのある遊び心、そして一般は大人としての落ち着いた視点を感じられました。標語作成をきっかけに、道路と交通の文化が育つのも楽しみです。

## ◆平成27年度の入選者・作品◆ ※発表内容は応募時点

### 最優秀賞(3作品)

#### 【小学生の部】「あいさつの 大きな声が ひびく道」

古賀美咲さん(佐賀県 伊万里市立山代東小学校)

(三好委員) その子の通っている道のまわりの花や人や家々などの景色まで想像できるような、魅力的な作品だと思います。全体に気持ちよくて元気のある作品が並びましたね。子供は地面に近いからでしょうか、私も小学生のころはいろんなものが飛び込んで、楽しく道草ばかりしていました。そんな生活が垣間みれて、こちらも嬉しくなりました。どんな大人になるのかなあとワクワク。

(やすみ委員) 明るく元気なイメージの標語です。とくに「大きな」「ひびく」という言葉選びが全体の良いポイントになっていますね。楽しい毎日の中にある道路の風景が誰にでも伝わるのではないのでしょうか。

(吉岡委員) 子どもらしい元気が、道いっぱいにはじけるよう。それまで無機質だった道が、子どもの声によって生命を宿されたように動き出す、そんな明るさに満ちています。

#### 【中学生の部】「もういいかい 指差し確認 まあだだよ」

荒川まなさん(佐賀県 学校法人松尾学園 弘学館中学校)

(三好委員) 打てば響くような言葉の使い方が心地よく、忘れられない標語ですね。みんなとても上手な言い方で、びっくりしました。一体どんな子がどんな思いでつくったのか、ちょっと知りたくまりました。他の作品も温かみがあり、とても好きです。きっと道の上でいろんな出会い・感動・伝えたいことがあったのでしょう。道の上で育っていくイメージ…。きっとこの先も出逢いから元気をもらい、凛として人生を進んで行くことでしょう。全員に大きなエールを送りたいです。

(やすみ委員) おしゃべり言葉で作られているので、親しみやすさを感じられます。道路を安全に渡ろうとする姿が作品全体から見えてきました。

(吉岡委員) もういいかい、まあだだよ、というかけ声が懐かしみと暖かさをもたらしてくれます。「指差し確認」の仕草からは若々しい躍動感が湧いてくるよう。

#### 【一般の部】「いい出会い いい道からの 贈り物」

友久 健さん(神奈川県 鎌倉市)

(三好委員) 「贈り物」という言葉がとても活きましたね。道は作っただけでは足りなくて、そこを利用する人々(我々)のドラマがあって初めて育まれていくのだという実感が伝わってきます。人の輪が広がり、心の交流があり、自然とキレイになり、愛されていく道が浮びました。本当に道は美しいですね。一般ということで、四季折々そこでたくさんさんの経験を重ね、かつ豊かになっていった様子が伝わってきました。

(やすみ委員) リズム感のいい、まとまりある標語です。「贈り物」という言葉にさまざまなイメージが広がり、道への想いがふくらんでいきます。

(吉岡委員) 出会い、贈り物という言葉に、人生の深みとゆとりを感じます。道路を文化的にとらえて、音とリズムもきれいにまとまっており、標語として口ずさみやすい作品です。

◎最優秀賞3作品のうち、委員に特に好評だった

「いい出会い いい道からの 贈り物」を今年度の代表標語とします。

### 優秀賞(6作品)

#### 【小学生の部】「たくさんの えがおあふれる 今日のみち」

伊藤さやさん(山形県 酒田市立亀ヶ崎小学校)

#### 「ごみひろい きれいなみちに ごあいさつ」

田代優奈さん(長崎県 島原市立第二小学校)

#### 【中学生の部】「前を見て あなたの道は この先に」

森谷友理さん(山形県 東根市立第一中学校)

#### 「通学路 元気をくれる 宝物」

熊田有紗さん(千葉県 浦安市立入船中学校)

#### 【一般の部】「美しい 道はみんなの 顔、心」

熊谷幸平さん(岩手県 一関市)

#### 「きらきらと ふれあいはずむ 朝の道」

會田誠一さん(神奈川県 大和市)